

社員のひとこと日記



11月に入り段々と寒くなってきました。

朝起きて布団から出てくる時間も徐々に長くなりだした今日この頃。

この地域は毎年、早い時だと11月末に一度雪がチラついて12月中旬頃から雪が降り出す気がします。

日本全国どこもそうでしょうか、年末に近づくと何かと忙しくなると思います。

北陸の冬は、スタッドレスタイヤ無しでは乗り切れません。

去年は、雪が降ってきてからのタイヤ交換で酷い目にあいました。

車屋さん、タイヤ屋さん等は当然「数時間待ち」。

結局、あきらめて雪が降っている中、屋外で震えながらタイヤ交換をした気がします。

しかも寒さで手が震えていつも以上に時間が掛かってしまいました。

今年は、まだ天気が良く暖かい日も多い気がします、去年の二の舞を避ける為にタイヤ交換を済ませました。冬の準備は早めにされる事を強くおススメ致します。

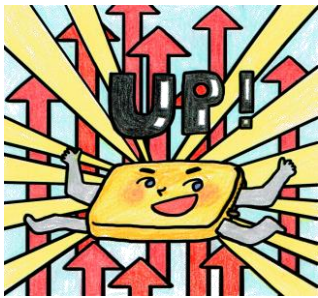


武田

365日が楽しくてたまらない!「商売のヒント」

今月の商売のヒント:【「ふだん」を大事に】

年の瀬には新年に向けて「新品」を揃えたくなるものです。そんな心理を知ってか知らずか、この時期になると風水で金運がアップするという「黄色い財布」の広告をよく見かけます。もちろん黄色い財布にかえただけでお金が貯まるわけではなく、大前提として「基本」というものがあります。



例えば風水では、「水まわりをきれいにして風通しをよくしましょう」などといわれますが、ふだんの環境を整えることで「良い気」を呼び込み、結果として金運がアップしたり運氣が良くなったりすると考えるのが自然でしょう。

商売をやっている人の中には縁起や験(げん)を気にする人が少なくないようです。昔から言い伝えられてきたことは、言わば先人の知恵のようなもの。特に年末年始のような大きな区切りのタイミングには、襟を正す意味も込めて縁起や験

をかついでおくと何かご利益に授かれるような気もします。しかしながら「黄色い財布」の効果と同じく、いちばん大事なのは「ふだんの心がけ」であることはいままでもないでしょう。

人生の処世哲学書として三百年以上も読み継がれてきた『菜根譚(さいこんたん)』の前集16項「四つの戒め」に、「利益は人より先に飛びつくな。善行は人に遅れをとるな。報酬は限度を超えてむさぼるな。修養はできるかぎりの努力を怠るな。」とあります。強調より協調を、競争より協奏を。日頃からそんな心持ちで仕事をしていれば、商売の神様も喜んで味方してくれるというものでしょう。

ところで、「金運アップの財布なんて子ども騙しを誰が買うのかと思っていたら、夫のお財布がいつの間にか黄色にかわっていた」と笑うのはある社長の奥様。

「財布より妻を大事にしたほうがいいことあるよ」と手厳しいご意見ですが、確かにどんな縁起をかついだところで、ふだんから自分を気遣ってくれる人をないがしろにするようでは商売がうまくいくとは思えません。慌ただしい年末年始ですが、どうか「ふだん」を大事にお過ごしください。

